

--	--	--	--	--

一 参院選(7/10)から判ったこと—議会(議員)、教委、選管の方策

18歳選挙権と主権者教育、そして自治体選挙へ

～主権者教育(高校・大学&小中学) —選挙啓発から主権者意識の向上と次世代育成へ～

- 神奈川の学校出前授業—NPOの参画と若者(18歳)の投票率
- 新潟市教委—市議会と連携した主権者教育(小・中・高)の実践
- 岐阜・可児市議会—高校出前講座と模擬投票の成果、自治体選挙への期待
- 千葉大学—「若者の政治参加を考える」科目の実施と大学生の投票行動
- 議会と議員が行うべきこと—地域の次世代育成に向けた取り組み

2016年10月11日(火) 10:00～16:50 剛堂会館・会議室 (東京・千代田区)

【講師陣】

- 浜田 未貴 氏/NPO法人YouthCreate
 大井 隆 氏/新潟市 教育委員会学校支援課 課長
 川上 文浩 氏/可児市議会議員 (岐阜県)
 関谷 昇 氏/千葉大学 法政経学部教授
 田口 一博 氏/新潟県立大学国際地域学部准教授
 明治大学政治経済学部兼任講師

- 会場：剛堂会館・会議室
 東京都千代田区紀尾井町3-27
 TEL03-3234-7362 (案内図は申込後送付)

- 支払方法：請求後の振込・郵便振替・当日払い
 みずほ銀行麹町支店 普通1159880
 三井住友銀行麹町支店 普通7411658
 三菱東京UFJ銀行神田支店 普通5829767
 郵便振替:00110-8-81660 口座名:株地域科学研究会

■ 参加費 (1名分)

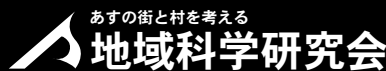
	当日参加	メディア参加
行政・議員	25,000円	28,000円
一般	35,000円	38,000円

※参加費の払い戻しは致しませんので、申込まれた方のご都合が悪い場合は代理の方のご出席をお願い致します。

- 申込方法：下記の申込書に所要事項を記入の上送付下さい (FAX・郵送・メール等)

請求書等書類が不要の方は開催日までに上記口座へ振込をお願いします (受講証/会場地図はFAX送信)。書類が必要な方には受講証と共に郵送しますので到着後にお支払いをお願いします。領収書が必要な方には当日受付でお渡し致します (日付、但書等の留意点があれば明記下さい)。

お申し込み・お問い合わせ



東京都千代田区一番町6-4ライオンズ第2-106
 TEL03(3234)1231 FAX03(3234)4993 〒102-0082
<http://chiikikagaku-k.co.jp/>

【申込書】 FAX：03-3234-4993 Email：machi@chiikikagaku-k.co.jp 2016年 月 日

研修会『18歳選挙権と主権者教育、そして自治体選挙へ』への参加 当日参加 メディア参加

勤務先 (請求書等宛先名) _____ 連絡担当者 _____

所在地〒 _____ TEL _____

参加者氏名 _____ 所属部課役職名 _____ FAX _____

_____ Email _____

〈通信欄〉○を付けて下さい

支払方法(請求後の振込・郵便振替・当日払い)

必要書類(納品書・請求書・見積書・領収書)

※ご記入いただいた個人情報は、当会の活動(セミナー・出版等の申込受付、連絡、請求、案内等)のみに使用させていただきます。

時	講 義 内 容
10:00 〰 11:00	18歳選挙権時代の主権者教育～神奈川の参院選投票率とNPOの取組み～ NPO法人YouthCreate 浜田 未貴氏 1. 主権者教育におけるNPOの役割 2. 学校出前授業の取組み 3. 参院選における若者の投票率の読み解き 4. 今後の主権者教育に向けて <質疑応答>
11:10 〰 12:10	18歳選挙権の実施に向けた学校の取組み 新潟市 教育委員会学校支援課 課長 大井 隆氏 1. 児童生徒の主権者意識を高めるために 2. 実感を伴った授業で主権者意識を高める新潟の実践（小・中・高の実践） 3. 新潟市議会との連携で主権者意識を高める <質疑応答>
13:00 〰 14:00	18歳選挙権の施行に向けた議会の取組み ～参議院選挙の結果と議会・議員の役割、自治体選挙への期待～ 岐阜・可児市議会議員 川上 文浩氏 1. 可児市議会の特徴と仕組み 2. 高校生議会の切っ掛けと仕組み 3. 地域課題懇談会の意義 4. 18歳選挙権（主権者教育）を高校へ出前講座 5. 全生徒を対象としたリアル模擬投票を実施 6. 若者条例への取組み 7. 可児市における参議院選挙の投票率 <質疑応答>
14:10 〰 15:25	大学生の投票率の実態と課題 千葉大学 法政経学部教授 関谷 昇氏 1. 大学での取り組み ・千葉大学における「若者の政治参加を考える」という科目の実施 ・2016年参院選における千葉大生の投票行動をめぐるアンケート調査 2. 大学生の政治意識 3. 大学生にとっての政治・選挙をめぐる環境 4. 18歳選挙権をめぐる課題 5. 市民参加と自治の充実に向けて <質疑応答>
15:35 〰 16:50	主権者教育と若者の政治参加 新潟県立大学国際地域学部准教授 明治大学政治経済学部兼任講師 田口 一博氏 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【概要】 初の18歳選挙権実施に向けた諸「対策」は効果を奏したようである。しかしこの対策は一過性のものであってはいけない。20歳選挙権時代、選挙啓発だけが行われた青壮年層が地域の政策に目を向けるようにしなければならないし、小中学生にこそ政治参加を通じて地域を学び、判断力・批判力をつけていかなければならないのである。</p> </div> ■ 地域の次世代育成策 社会参加、政治的リテラシー、選挙啓発？、担い手、教材 ■ 議会が行うべきこと 議事の方法を若者と使ってみる、地域の政策を考える、地域の話し合いの「場」づくり ■ 議員が行うべきこと 地域の「先生」として、政策課題を提示する、合意形成の過程を語る、リーダーシップを見せる、政治・政治家について語る <質疑応答>